

自民党北海道第12選挙区支部長

武部あらた



風は宗谷から!

光はおホーツクから

「地方創生」実現に燃える 若きリーダー

新人議員らしく元氣ハツラツ国会で大活躍する武部あらたさん。自民党農林部会副会長、水産部会副会長に1年生としては異例の抜擢、現場の声を政策に結びつけています。

政治センス、政策力、行動力、人脈は永田町でも評判で、次代のニューリーダーとの呼び声も高く、政治家として大きく成長している武部あらたさん。地域の課題に果敢に取り組み、地元の方々からも「頼りになる存在」として信頼が高まっています。

「郷土愛」が政治信条の若きリーダーが目指すのは「地域創生」の実現。「光はおホーツクから、風は宗谷から!」を合言葉に、「オホーツク・宗谷からアベノミクス第2幕をスタートさせる」と燃える武部あらたさんに、その意気込みをお聞きしました。

アベノミクス第二幕の主演は「地方」

「アベノミクスにより雇用・賃金など経済の好循環がようやく動き始めましたね?」

武部 「失われた10・20年間」と言われますが、日本は長い間デフレから脱却できずにいました。賃金は下がり、企業の収益は下がり、失業者はあふれる。

2年前に私も皆様のご支援により初当選させていただきましたが、安倍総理を先頭に「景気回復」を最優先の課題として取り組んできました。アベノミクス「3本の矢」により、経済成長はプラスに転じ、株価は政権交代前の2倍、就業者数は約100万人増加しています。特に若い人の雇用、高校生の就職内定率は約13%改善しました。企業収益の増加↓雇用拡大↓賃金上昇↓消費拡大↓景気回復と経済の好循環がまさに生まれようとしています。再び暗い混沌の社会に逆戻りさせてはなりません。

「アベノミクス第二幕の主演は地方」とおっしゃっていますが?

武部 日本はデフレを脱却しつつありますが、地方ではまだまだアベノミクスの効果を実感

する人は少ないと思います。私たちのふるさとオホーツク・宗谷をはじめ、全国の隅々にまで一日も早くその効果を行き渡らせ、景気回復を実現し、日本を確実に再生させなければなりません。アベノミクス第二幕スタート、その主演は地方なのです。デフレ脱却、景気回復、日本再生のためにはこの道しかありません。

「私たちが地域の景気回復・創生のカギは?」

武部 進む人口減少社会の中、これまで以上にしっかりとした対策を国と地方自治体が一致協力して進める必要があります。基幹産業である農林水産業の振興をはじめ、中小、小規模企業が将来に希望をもって、元気に頑張ることができる環境をつくらなければなりません。

「食」「健康」「観光」「環境」をキーワードに地域経済を活性化させ、子どもたちの笑顔があふれ、地域で女性が生き生きと活躍し、お年寄りが安心して暮らすことができるふるさとづくり、力いっぱい取り組んでまいります。

武部あらたが1期目で積み重ねた実績

- 北海道横断自動車道の凍結区間の解除
- 網走港の小麦集出荷施設(総事業費約42億円)
- 担い手経営安定法の改正(ビートの基準糖度引き下げ、交付金単価引き上げ等)
- 紋別市木質バイオマス発電所
- 網走市に日本体育大学北海高等学校の開校決定
- サロマ湖第2湖口の漂砂対策
- オホーツク暴風雨災害の復旧対策
- 美幌町の過疎地域指定
- JAつべつTMRセンター、JAびほろてん菜育苗センター等農業施設整備
- オホーツク地域化製場の整備
- ◆加工原料乳生産者補給金単価引き上げ(2年で実質1.05円)
- ◆EU向けHACCP対応のための水産加工・流通施設改修支援事業
- ◆TPP交渉参加に関する国際会議◆鳥獣被害防止特措法の改正
- ◆漁業用燃油緊急特別対策の創設
- ◆森林整備加速化・林業再生基金事業の推進

ERAL&DEMOCRATIC

自由民主

自由民主党本部 郵便番号100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23 電話 東京 035816211(代表) (毎週火曜日発行)
(昭和30年6月15日第三種郵便物認可) 自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

オホーツク総合振興局・宗谷総合振興局管内版

自民党北海道第十二選挙区支部

〒090-0833 北見市とん田東町603-1
TEL: 0157-61-7711 FAX: 0157-61-5110

<http://takebe-arata.com/>